

<鹿児島県作業療法士協会主催 研修会のご案内>

タイトル:

「 終末期を在宅で迎える ～作業療法士の役割～」

開催日時：平成30年1月21日（日） 9：30～11：50（ 9：10より受付 ）

会場：リナシティかのや 2階 情報研修室（情報プラザ）
（鹿児島県鹿屋市大手町1番1号） 電話 0994-35-1001

対象者：作業療法士、リハビリテーション関連職種

内 容：ワークショップ形式で実施

具体的な事例を通じて、終末期の在宅医療とその中での多職種連携を学ぶ、作業療法士の役割を振り返る機会になります。アイスブレイクやロールプレイを使いながら学びます。新人からベテランへ成長していく、チームの中で学んでいくプロセスや多職種連携コンピテンシーについてもレクチャーにて解説します。また大隅地方での在宅医療の厳しい現状や人材育成の解決策についてもみなさんと一緒に議論できればと思います。（講師より）

講 師：吉村 学先生（ 医師 ）

所 属：宮崎大学 医学部 地域医療・総合診療医学講座 教授
日本プライマリ・ケア連合学会理事（多職種連携委員会担当理事）（国際交流委員会副委員長）

<最近の鹿児島県内の講演活動>

- ・平成28年度 第3回在宅医療推進に係る意見交換会
「こきすんじょってまこちよかった」と思えるまちづくり～在宅医療、多職種連携の立場から～
（ H28年11月17日 主催；肝付町 ）
- ・在宅医療推進住民講座 ～ 住み慣れた地域で、安心して最後まで過ごすために～
「 やっぱい、我が家（え）がよかど 」～老いも若きもいっしょに考える地域包括ケア～
（ H30年1月18日 主催；東串良町 ）

<今年度の主な執筆活動>

- ・ 「4 疾病分類、健康問題、ICPC」、日本プライマリ・ケア連合学会 基本研修ハンドブック 改訂2版、日本プライマリ・ケア連合学会編、南山堂、東京、P195-199、2017
- ・ 「プライマリ・ケアの充実～地域包括ケアの実践～認知症 多職種連携コンピテンシーから考える地域包括ケア」、宮崎県プライマリ・ケア研究会会誌8号（通算63号）、宮崎県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会編、P20-23、2017

- ・「地域医療とは何か?」、健康づくり協会機関誌「サンテ宮崎」80、宮崎県健康づくり協会、P1-2、2017
- ・「1 生物心理社会モデルの考え方」、「2 患者中心の医療とは」「私の工夫～家族図 (family tree) を作成するコツ～」、総合診療専門医マニュアル、南江堂、P474, 475, 499、2017

他、執筆、講演多数。

<略歴概要>

51歳、26年目の家庭医（総合診療医）。鹿児島県出身で宮崎大学を卒業し、自治医科大学附属病院で多科スーパーローテイトの初期研修を終了。以後、地域医療学講座に所属して群馬県の僻地である六合温泉医療センター勤務、地域医療のイロハを学ぶ。その後大学病院へもどりチーフレジデントとして活躍。学生教育、研修医教育にも従事し、あわせてEBMやコホート研究なども学び、地域医療の学問的な基盤を学ぶ。

平成10年より岐阜県揖斐郡北西部地域医療センターに赴任し、無床診療所と老人保健施設の複合施設である同センターに勤務しながら中山間での地域、僻地での地域包括ケアの実践と医学生研修医の教育を地域で行うことをミッションとして活動を開始した。平成15年に同センター長となり17年間にわたり、国内外の研修生約1000名（海外30名超含む）を受け入れた。

「置き去り実習」「お泊まり実習」などのユニークな実践参加型実習を推し進めながら、また多職種連携教育（IPE）の必要性を痛感して、平成21年より地域基盤型ごちゃまぜIPEを開始、以後継続して現職まで拡大して活動を続けている。

平成28年より日本プライマリ・ケア連合学会理事（多職種連携担当）。

また都市部での診療もシティタワー診療所にて経験があり、急性期を含む在宅医療なども実践している。こうした診療及び地域医療教育実践などにより母校である宮崎大学地域医療・総合診療医学講座の教授として迎えられ、平成27年5月より着任した。家庭医療サークル設立、学生教育、初期研修医の教育、家庭医・総合診療医養成プログラム、多職種連携教育を開始している。多職種連携教育に関する国診協のプロジェクト、文科省のプロジェクトにも参加している。

専門は家庭医療、総合診療、地域医療、医学教育、多職種連携教育（IPE）。

資格はプライマリ・ケア認定医、同指導医、産業医。

ポイント：参加者 2ポイント（日本作業療法士協会、かつ鹿児島県作業療法士協会会員）

当日は、今年度の県OT協会会員シールを貼付した日本OT協会会員証を受付で提示してください。 まだお手元に届いていない場合は、県協会、日本OT協会会費の振り込みが確認できる領収証を持参し、受付で提示して下さい。 当日にいずれかの確認ができない場合は、非会員扱いとなり、受講費の徴収、もしくは受講をお断りすることがございます。

付記事項：定員60名 経験・分野 不問、申込締め切り 平成30年1月15日（月）

受講費：会員無料 他職種2,000円 非会員10,000円

申し込み先および問い合わせ先

医療法人社団春陽会 春陽会中央病院 春花 利江

メールアドレス；shunyo - riha@po.synapse.ne.jp

電話（代表）；0994-65-1170

申し込み方法；メールにてお申し込みください。件名に「終末期OT研修会申込み」と入力し、本文に、①氏名 ②職種、OTの方は協会会員番号 ③所属 ④連絡先（電話）を記載して下さい。申し込み後、1週間経過しても返信がない場合は、お問い合わせください。

なお、研修会前日に、懇親会を予定します。参加ご希望の方は、申込み時に「懇親会参加希望」と明記し、連絡先を記載して下さい。